

「第40回日本緑化工学会大会」案内（第3回）

第40回日本緑化工学会大会運営委員長 山本 聡

標記大会を下記の要領で開催いたします。会員はじめ多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 大会概要

(1) 日程

2009年9月25日（金）～9月27日（日）

9月25日（金）見学会（灘山緑地〔長大法面緑化〕および兵庫県立淡路景観園芸学校/兵庫県立大学淡路キャンパス）

9月26日（土）研究交流発表会、資材工法展示、研究集会、総会、懇親会

9月27日（日）研究発表、資材工法展示、研究集会

緑化・環境CPDの詳細については、下記URLをご参照下さい。

<http://www.gaecpd.com/>

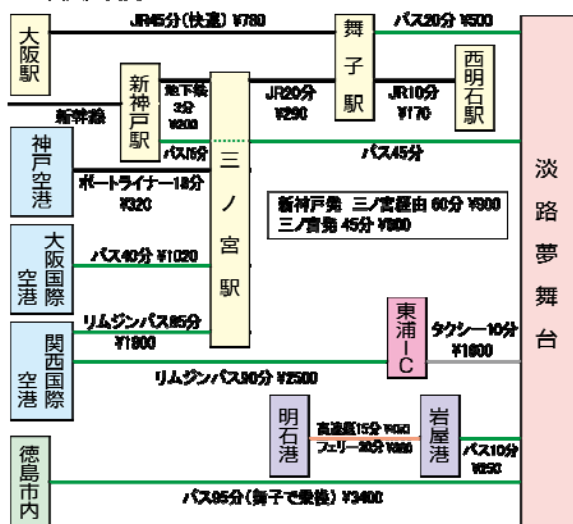
(2) 会場

淡路夢舞台国際会議場

(淡路市夢舞台1番地 TEL:0799-74-1020)

<http://www.yumebutai.org/access/access.html>

公共交通機関



本土 → 淡路 淡路 → 本土

新幹線 新神戸駅	JR 三宮駅	高速舞子 (JR舞子)	淡路 夢舞台	淡路 夢舞台	高速舞子 (JR舞子)	JR 三宮駅	新幹線 新神戸駅
発	発	発	着	発	着	着	着
7:15	7:30	8:00	8:15	9:36	9:51	10:18	10:28
8:15	8:30	9:00	9:15	10:36	10:51	11:18	11:28
9:15	9:30	10:00	10:15	11:36	11:51	12:18	12:28
10:15	10:30	11:00	11:15	12:36	12:51	13:18	13:28
11:15	11:30	12:00	12:15	13:36	13:51	14:18	14:28
12:15	12:30	13:00	13:15	14:36	14:51	15:18	15:28
13:15	13:30	14:00	14:15	15:36	15:51	16:18	16:28
14:15	14:30	15:00	15:15	16:36	16:51	17:18	17:28
15:15	15:30	16:00	16:15	17:36	17:51	18:18	18:28
16:15	16:30	17:00	17:15	18:36	18:51	19:18	19:28
17:15	17:30	18:00	18:15	19:36	19:51	20:18	20:28
18:15	18:30	19:00	19:15	20:36	20:51	21:18	21:28
19:15	19:30	20:00	20:15				
20:15	20:30	21:00	21:15				
21:35	21:50	22:20	22:35				

高速舞子 (JR舞子)	淡路 夢舞台	淡路 夢舞台	高速舞子 (JR舞子)
発	着	発	着
6:30	6:45	6:55	7:10
7:30	7:45	7:20	7:35
7:40	7:54	7:50	8:05
8:10	8:24	8:50	9:05
9:10	9:24	9:00	9:15
9:30	9:45	9:50	10:05
9:45	9:59	10:00	10:15
10:30	10:45	10:50	11:05
11:20	11:34	11:00	11:15
11:30	11:45	12:01	12:16
12:20	12:34	12:50	13:05
12:30	12:44	13:01	13:16
13:30	13:44	13:50	14:05
14:20	14:34	14:01	14:16
14:30	14:44	15:01	15:16
15:20	15:34	15:50	16:05
15:30	15:44	16:00	16:15
16:30	16:45	17:00	17:15
16:45	16:59	17:50	18:05
17:30	17:45	18:00	18:15
18:30	18:45	18:50	19:05
18:45	18:59	19:00	19:15
19:30	19:45	19:50	20:05
19:45	19:59	20:00	20:15
20:25	20:39	21:00	21:15
20:30	20:45	22:03	22:18
21:30	21:45	23:08	23:23
22:35	22:49		
23:40	23:54		



携帯時刻表

2. 参加申込方法・参加費用

当日受付にて参加費用をお支払いください。前納受付は8月21日で終了しました。

		正会員	学生会員	賛助会員	非会員	非会員学生
大会参加費	当日	4,000 円	1,000 円	5,500 円	6,000 円	2,000 円
懇親会	当日	6,000 円	3,000 円	6,000 円	6,000 円	3,000 円

(1) 参加費

賛助会員、非会員の大会参加費には、資料代（学会誌 35 巻 1 号）が含まれています。

（非会員学生の大会参加費には資料代が含まれておりませんので、必要に応じて別途ご購入下さい。）

(2) 前納受付済みの方へ

事前にお送りしておりますチケットを参加当日、受付デスクにて提出の上、参加証をお受け取りください。

3. 大会プログラム

9月25日 淡路夢舞台国際会議場1Fロビー	
12:00	見学会受付
13:00	灘山緑地
15:00	淡路景観園芸学校
17:00	散会

9月26日	レセプションホールB	ホワイエ	ホテル連絡通路	304	305	201
9:30	受付					
9:50	開催挨拶	論文技術ポスター 資料展示	研究交流発表会	書籍販売	休憩室	大会本部
10:00	研究集会1 緑と健康	↓	↓	↓	↓	↓
12:00	昼食	↓	↓	↓	↓	↓
13:00	(ポスターコアタイム1)	→	研究交流発表会コアタイム1			
14:30	学会賞・総会等	↓	研究交流発表会	↓	↓	↓
16:00	研究集会2 法面自然回復緑化	↓	↓	↓	↓	↓
18:00	懇親会					

9月27日	レセプションホールB	ホワイエ	ホテル連絡通路	304	305	201
9:30	論文技術報告 口頭発表1	論文技術ポスター 資料展示	研究交流発表会	書籍販売	休憩室	大会本部
11:45	昼食	↓	↓	↓	↓	↓
13:00	(ポスターコアタイム2)	論文技術ポスターコアタイム2 資料展示	↓	↓	↓	↓
15:00	論文技術報告 口頭発表2	↓	↓	↓	↓	↓
17:00	閉会挨拶	片づけ終了	片づけ終了	片づけ終了	片づけ終了	片づけ終了

※理事会は、26日（土）12：00 から会場 301 で開催予定です。

※評議会は、27日（日）12：00 からレセプションホール B で開催予定です。

※本大会のプログラムには、緑化・環境 CPD 認定行事が含まれており、CPD ポイントがつきます。当日、CPD カードをご持参下さい。なお、ポイントの詳細については学会 HP の大会案内に掲載予定です。

4. 研究発表（論文・技術報告）

■論文・技術報告 口頭発表1 9月27日（日） 9:30～11:45(発表12分、質疑応答3分)

◇場所：レセプションホールB

No.	タイトル	著者名	頁
0-01-T	生物多様性に配慮した雄性不稔トールフェスク“エムエステイワン（MST1）”の育成とその特性評価	入山義久・立花正・藤森雅博・荒川明・小松敏憲・高溝正	107
0-02-T	寡雪寒冷地における地域性系統苗の生長と管理手法について	齋藤与司二・中井秀信・大坪恒美・等々力敏樹・山田守	111
0-03-T	ダム湖岸法面における生物多様性を確保した植栽工による樹林化	佐々木祐司・岡村俊邦	115
0-04-T	森林表土利用工及び自然侵入促進工の施工事例報告	中菊亜弥・谷口伸二	142
0-05-T	スギ樹皮を利用した自然侵入促進工による法面緑化	石坂知行・藤井一徳・森下照久・藤原秀次郎・山瀬敬太郎・太田雄一郎	146
0-06-T	森林表土を利用した客土注入マット工（植生基材注入工）と有機質系植生基材吹付工の比較実験	杉山勝茂・西野浩行	150
0-07-T	里山構成樹6種の伐採4年後における萌芽枝の消長	今西亜友美・森本淳子・柴田昌三・中西麻美・大澤直哉	158
0-08-T	緑化法面に進入したクズ（ <i>Pueraria lobata</i> Willd.）Ohwi）の駆除試験工事（II）－施工2年目の経過－	田中淳・堀江直樹・早川信光	170
0-09-T	異なる水位における土壌シードバンクからの水田雑草の発生	八木健爾・関岡裕明・渡邊修・嶺田拓也・鈴木正貴・吉岡俊人	178

■論文・技術報告 口頭発表2 9月27日（日） 15:00～17:00(発表12分、質疑応答3分)

◇場所：レセプションホールB

No.	タイトル	著者名	頁
0-10-A	分布型表層崩壊モデルによる樹木根系の崩壊防止機能の定量的評価について	執印康裕・鶴見和樹・松英恵吾・有賀一広・田坂聡明	9
0-11-A	地上型レーザスキャナを用いた天然記念物に指定されたソテツ（ <i>Cycas revoluta</i> Thunb.）の形状計測	中村彰宏・戸田健太郎・前中久行	63
0-12-T	ヤマザクラの根系分布と樹木活力度および土壌硬度の関係	今西純一・奥川裕子・飯田義彦・金鉦峻・森本幸裕・山中勝次・小島玉雄	182
0-13-T	有機物を用いた人工腐植物質生成の試み	額瀬裕美・田中賢治・田中三郎・朝日伸彦・杉浦弘毅・杉本弘道	190
0-14-T	木質系堆肥の施用による耕作地の土壌改良効果	高橋輝昌・飯泉浩二・平野正男・平野義勝・松田晴美	194
0-15-T	油汚染土壌における植物の生育とその浄化効果	米村惣太郎・浅田素之・田崎雅晴	210
0-16-T	各種屋上緑化基盤材の重量測定に関する標準化の検討	梶川昭則・石原晋・武田重昭・外崎公知・今井一隆・内田伸二・大森僚次・尾関雄一郎・大島雅弘・武内孝純・藤田茂・吉原貞樹	218
0-17-T	ユニット型植栽基盤に花卉園芸植物を用いた室内緑化に関する研究	橋大介・薬師寺圭・高橋愛子・渡辺均・吉岡孝治	232

■論文・技術報告 ポスターセッション 9月27日(日) 13:00~15:00

◇場所: ホワイエ

コアタイム (*: 13時~14時、**: 14時~15時)

No.	タイトル	著者名	頁
P-01-A (*)	地上型レーザスキャナを用いた3次元環境計測における樹高の推定	戸田健太郎・中村彰宏・大藪崇司・前中久行	69
P-02-A (**)	斜面位置の違いによる森林土壌の糸状菌と細菌のバイオマス	戸田浩人・筒井希美子・喜多智・浦川梨恵子・生原喜久雄	15
P-03-A (*)	天王山における放置モウソウチク林の林分構造と整理伐後3年間の動態	阿部佑平・柴田昌三	57
P-04-A (**)	毛烏素沙地における地下水面からの比高による <i>Agriophyllum squarrosum</i> (L.) Moq. (沙米) の分布の違い	大藪崇司・張国盛・渡邊英一・吉水祥平・戸田健太郎・水野由芽・三木直子・王林和・吉川賢	39
P-05-A (*)	法面緑化工のLCI (Life Cycle Inventory) 分析	橘隆一・永岩隆城・九里徳泰・後藤尚弘・藤江幸一	3
P-06-A (**)	光環境に対するネズミモチとトウネズミモチの葉と枝の生理・形態的反応の違い	大杉祥広・石井弘明	45
P-07-A (*)	異なる光条件下で生育させたケネザサ (<i>Pleioblastus pubescens</i> Nakai) 個葉の光ストレスに対する生理生態的反応	阿拉坦花・石井義朗・坂本圭児・三木直子・廣部宗・吉川賢	51
P-08-A (**)	緑化用および鑑賞用植物として流通しているテイカカズラ属 (<i>Trachelospermum</i> Lem.) 園芸品種の分類	上町あずさ・下村孝	75
P-09-A (*)	尿素を用いたパーク堆肥中でのポリ乳酸 (PLA) の分解	中村健二・伊東優介・新田見匡・松本幹治・中村一穂	21
P-10-A (**)	不均一な水分分布を抑制した壁面緑化基盤構造における粒径構成	辻永岳史・輿水肇	27
P-11-A (*)	異なる塩ストレス下におけるアブラマツ (<i>Pinus tabulaeformis</i> Carr.) 苗木の生存及び成長と菌根形成	田中一平・谷口武士・二井一禎・山中典和	33
P-12-A (**)	近代日本における樹木治療の起源	兼村星志・大藪崇司・田林葉	81
P-13-A (*)	病院における緑環境の現状に関する研究一病院の特性から見た緑化の考察一	宮下佳廣・岩崎寛	87
P-14-T (**)	長期間乾燥貯蔵した在来草本種子の発芽率推移	中村華子・宇津木栄津子・橘隆一・福永健司	95
P-15-T (*)	国内採取した落葉性在来低木類の種子発芽率	橘隆一・中村華子・福永健司	99
P-16-T (**)	ツリバナ, オオツリバナ種子の低温湿層処理およびジベレリン処理による発芽促進	篠崎隼也・福永健司	103
P-17-T (*)	切土のり面における陸生スゲ類5種の生育と永続性	荒瀬輝夫・内田泰三	119
P-18-T (**)	フトン籠を利用したケイワタバコ (<i>Conandron ramondioides</i> var. <i>pilosum</i>) の復元・緑化手法	徳永絵里・大澤啓志・勝野武彦	123
P-19-T (*)	植生基材吹付工施工後2年間の基材の耐侵食性	細木大輔・柏木亨・松江正彦	126
P-20-T (**)	森林の侵食土砂中に含まれる埋土種子量	山瀬敬太郎・関岡裕明・栃本大介・藤堂千景	130
P-21-T (*)	道路盛土法面における森林表土を用いた緑化試験	室伏幸一・朝倉俊治・尾崎俊彦・安藤辰夫	134
P-22-T (**)	シカが生息する地域での森林土壌を吹付けた林道切土法面の緑化	下園寿秋・長野十郎・内野英一郎	138
P-23-T (*)	ヒノキ人工林内の常緑低木が高木層処理後1年目の広葉樹侵入に及ぼす影響	島田博匡・野々田稔郎	154
P-24-T (**)	木曽川中流域3市(可児市, 各務原市, 犬山市)におけるオオキンケイギクの分布状況	藤原宣夫	162

No.	タイトル	著者名	頁
P-25-T (*)	刈取りがオオイトドリ (<i>Reynoutria sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Nakai) の再生に及ぼす影響	田崎冬記・内田泰三・丸山純孝	166
P-26-T (**)	希少植物種が自生する休耕田におけるヒエ類の抑制	稲垣栄洋・松野和夫・高橋智紀・大石智広・根岸春奈・山下雅幸	174
P-27-T (*)	アラカシ (<i>Quercus glauca</i> Thunb.) の簡易移植作業に伴う樹液流の変化	竹内真一・西村吉英	186
P-28-T (**)	青森県内の生物系未利用資源を活用した法面緑化資材の研究 (III) -法面緑化試験-	苫米地久美子・吹越公男・杉浦俊弘・馬場光久・小林裕志	198
P-29-T (*)	森林土壌における蛍光画像解析法を用いた糸状菌・細菌別の定量法	筒井希美子・戸田浩人・喜多智・生原喜久雄	202
P-30-T (**)	緑化法面における土壌動物と環境要因との関係	伊藤大輔・福永健司・吉田寛	206
P-31-T (*)	東京都内の芝生化校庭における踏圧負荷分析	中村圭亨・渋谷圭助	214
P-32-T (**)	コケ2種を用いた屋上・壁面緑化のための実験	小石川真登・小島仁志・勝野武彦	222
P-33-T (*)	屋上緑化用芝草の気孔分布の特徴	林貴之・杉浦俊弘・馬場光久	226
P-34-T (**)	屋上緑化施設の公開に関する実態調査	鈴木弘孝・加藤真司・藤田茂・金甫炫	228
P-35-T (*)	千葉県の病院外来部待合空間に設置された植物の現状調査と評価に関する研究	上野勝・岩崎寛	236
P-36-T (**)	森林内の遊歩道の幅の違いが人に与える心理的効果	佐藤慎士・総谷珠美・岩崎寛	240
P-37-T (*)	里山の植物とフトン籠型緑化ユニットを活用した環境教育の実践と効果	小島仁志・宮田生美・大澤啓志	243
P-38-T (**)	砂丘固定と緑化をねらったサンドソーセージ工法	奥村武信・佐々木康次・松本茂登・虞毅・高永・韓太平・胡小龍・李錦榮	247

5. 研究交流発表会 ポスターセッション 9月26日(土) 13:00~14:30

◇場所：ホテル連絡通路

コアタイム (*: 13時~13時45分、**: 13時45分~14時30分)

	タイトル	著者名	頁
*	キャンパス屋上における湿地ビオトープパッケージに関する研究 - ビオトープパッケージのヒートアイランド緩和効果 -	藤瀬弘昭, 海老原学, 石井武志, 田中章 (武蔵工業大学)	1
**	がん患者の心身のケアを目的とした都市緑地の活用に関する研究	中右麻衣子 (京都大学大学院農学研究科), 今西二郎 (京都府立医科大学大学院医学研究科), 今西純一 (京都大学大学院地球環境学), 渡邊聡子 (京都府立医科大学大学院医学研究科), 今西亜友美 (京都大学フィールド科学教育研究センター), 馬場健, 森本幸裕 (京都大学大学院地球環境学), 人見滋樹, 千葉渉 (高槻赤十字病院), 伊藤壽記, 平井啓 (大阪大学大学院医学系研究科)	2
*	「連続繊維補強土工による法面保護と緑化事例」-ジオファイバー工法-	堀江直樹, 田中淳 (日特建設(株)技術本部), KOH, JEUNG-HYUN, HUR, YOUNG-JIN (一松環境復元(株))	3
**	ミズゴケに関する基礎的研究	原川健太郎 (東海大・院・農), 星良和, 長野克也 (東海大・農・応用植物), 市川勉 (東海大・産業工・環境保全), 出口博則 (広島大・院・理)	4
*	ミズゴケ湿原における細菌群集構造の解析	鎌田真博 (東海大・院・農), 長野克也 (東海大・農・応用植物), 市川勉 (東海大・産業工・環境保全), 出口博則 (広島大・院・理), 星良和 (東海大・農・応用植物)	5
**	都市公園における刈取りによるスズラン個体群の回復	近藤哲也, 成田瑞樹 (北海道大学大学院農学研究科), 中村まい (北海道大学農学部), 笠康三郎 (有限会社緑花計画)	6
*	冷温帯において生物多様性緑化のために行なわれた植栽工法のモニタリング	藤本絵美, 日置佳之 (鳥取大学)	7
**	愛媛県今治市笠山山林火災跡地の森林再生	河野修一, 川崎哲郎, 江崎次夫 (愛媛大学), 田中健一 (日本植生(株)), 車斗松, 全権雨 (江原大学校)	8
*	高温期の屋上における地温と植物生育	稲本亮平, 川崎哲郎, 垣原登志子, 河野修一, 江崎次夫 (愛媛大学), 全権雨 (江原大学校)	9
**	エチゼンクラゲ類を活用する都市公園づくり	江崎次夫, 河野修一, 川崎哲郎 (愛媛大学), 山野和秀, 川西義春, 尾松綾子 (普通寺市役所), 真鍋三象 (大成建設(株)), 松本淳一, 白石隆介, 土居幹治 (マルトモ(株)), 全権雨 (江原大学校)	10
*	エチゼンクラゲ類を活用する荒廃地の森林再生	江崎次夫, 河野修一, 稲本亮平, (愛媛大学), 松本淳一, 白石隆介, 土居幹治 (マルトモ(株)), 全権雨 (江原大学校)	11
**	地域資源を活用する緑化	河野修一, 塩月竜一, 川崎哲郎, 江崎次夫 (愛媛大学), 樹谷博文 (㈱マスタニ), 田中健一 (日本植生(株)), 車斗松, 全権雨 (江原大学校)	12
*	森林表層土壌を活用する緑化	田中健一 (日本植生(株)), 樹谷博文 (㈱マスタニ), 河野修一, 江崎次夫 (愛媛大学), 車斗松, 全権雨 (江原大学院)	13
**	愛媛県肱川流域の竹林対策	江崎次夫, 河野修一, 稲本亮平, 川崎哲郎 (愛媛大学), 森本修三 (国交省大洲河川国道事務所), 全権雨 (江原大学校)	14
*	河川流域のオオキンケイギクの防除対策	江崎次夫, 河野修一, 稲本亮平, 川崎哲郎 (愛媛大学), 中岡浩三, 市川雅宏, 橋田貴士 (国交省松山河川国道事務所), 全権雨 (江原大学校)	15
**	3次元地理情報システムによる雲仙普賢岳北斜面の土砂挙動解析	小川泰浩, 大丸裕武, 村上亘 (森林総合研究所), 近重朋晃 (長崎県島原振興局)	16
*	ミヤコザサが林床に優占する森林においてニホンジカがいなくなると土壌の物理性は回復するか	古澤仁美 (森林総合研究所), 日野輝明 (森林総研関西), 三浦寛, 金子真司, 荒木誠 (森林総合研究所)	17
**	空中写真による千葉県山武地域におけるモウソウチク林分布・拡大状況の分析	鬼東大平, 加藤頭, 小林達明 (千葉大学大学院園芸学研究科)	18
*	小型自律飛行ロボットによる八幡湿原自然再生事業地の植生モニタリング	山場淳史 (広島県立総合技術研究所林業技術センター), 鈴木真二 (東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻), 鈴木太郎, 桑原佑吉, 三好大地, 天野嘉春, 橋詰匠 (早稲田大学理工学術院総合研究所), 實松洋平 (三菱電機株式会社), 久保大輔 (宇宙航空研究開発機構)	19
**	北海道における地被植物としてハーブを導入した畦畔景観の印象に関する研究	松島肇 (北海道大学大学院農学研究院), 堀尾公美子 (名古屋市長政土木局農業技術課), 近藤哲也 (北海道大学大学院農学研究院), 岡田穰 (専修大学北海道短期大学), 古橋卓 (東京農業大学農学部)	20
*	自生種を導入した緑地景観の印象と情報提供の効果に関する研究	松島肇 (北海道大学大学院農学研究院), 佐藤あき (アサヒビール株式会社), 近藤哲也 (北海道大学大学院農学研究院)	21
**	生物多様性への配慮を考慮した工場緑地の取組み	関岡裕明 (株式会社環境アセスメントセンター), 亀井政昭 (大阪ガス株式会社北製造所), 金倉奈美 (株式会社環境アセスメントセンター), 高島敏和 (大阪ガス株式会社北製造所)	22
*	小笠原諸島におけるセンダンの種内レベルの遺伝的攪乱の検討	須貝杏子, 森啓悟, 村上哲明, 加藤英寿 (首都大・牧野標本館)	23
**	日射遮蔽物による駐車場の熱環境改善効果の評価	淑敏, 日置佳之 (鳥取大学)	24
*	ササ刈り後の管理による牧草原植生再生に関する研究	児玉卓也, 小林達明 (千葉大学大学院園芸学研究科)	25

6. 資材・工法展示の概要

◇出展者：エスペックミック株式会社

「チガヤによる法面緑化の提案+パリコレ！！」

本学会の展示においては、地域性を考慮したチガヤによる法面緑化の事例（兵庫県の事例を中心に）をご紹介しますとともに、弊社で取り組み始めているパリコレ??をご紹介します。

◇出展者：東レ株式会社

「砂丘固定と緑化をねらったサンドソーセージ工法」

中国の伝統的工法である「草方格」をモデルにし、生分解のポリ乳酸繊維のチューブに現地を砂を充填し砂漠で方格状に敷設する事で砂の移動を抑制、この格子間の砂に飛来した現地の草の種子の定着を図ることを目的とした工法。植物由来のポリ乳酸繊維は、最終的には微生物によってCO₂と水に分解されます。

◇出展者：NPO法人日本バーク堆肥協会

「当協会の会員に対するバーク堆肥の品質管理について詳述」

当協会では、バーク堆肥の品質基準を定め、各会員製品の化学分析とコマツナを使用した幼植物検定法によるチェックを行なって品質管理に努めている。

7. 研究集会

(1) 緑・健康研究部会 26日(土) 10:00~12:00

「学生・若手技術者と共に緑と健康に関わる研究の今後を考える」

ストレス社会と言われる現在、緑空間の保有する健康に対する効果に注目が集まっている。緑・健康研究部会では、これまで緑の植栽空間が保有する癒しや健康増進効果に着目し、その効果計測手法や効果の根本的な原理について検討を進めてきた。その様な中、この分野の研究の方向性や実務との繋がり、継続的な研究の重要性が見えて来た。そこで今回は、緑と健康に関する分野の研究を行っている学生やそれらを業務と繋げる場に居る若手技術者から現状報告を頂き、課題や今後の研究・業務の方向性を議論する。また、現在、独立して行われている研究や業務について、どの様な繋がりが持てるのかを検討し、本分野の横の繋がりの検討を行う。

企画責任者：岩崎寛(千葉大学)・山本聡(兵庫県立大/淡路経験園芸学校)・
今西純一(京都大学)・飯島健太郎(桐蔭横浜大学)

話題提供者：緑と健康に関する研究を行っている学生およびその活用を目指している若手技術者からの発表を予定

コメンテーター：那須守(清水建設技術研究所)

(2) 法面自然回復緑化 26日(土) 16:00~18:00

「法面自然回復緑化の現場をとりまく課題と今後の展望(Ⅲ)-自然回復緑化の実施現場からの声-」

自然回復(生態系復元)、生物多様性保全、外来生物法、要注意外来生物(別途検討を進める緑化植物)など、法面緑化をとりまく情勢が急変したことにより現場では混乱が生じた。自然の早期回復を目指す法面緑化には、新たな技術の確立と社会的環境の整備が急務であり、そこで昨年の集会では、植生工の「検査基準」の現状を取り上げ、議論を行った。今回は、切土法面で行われた自然回復緑化の実施例を、現場で実際に担当された方々から紹介していただく。リアルな苦労話や、そこで生じた問題点とその解決策などをもとに、今後に向けて議論を深めたい。

企画責任者：福永健司（東京農大）

基調講演者：松江正彦（国土技術政策総合研究所）

話題提供者：井上芳一（兵庫県）、田中賢治（国土防災技術）、齋藤与司二（東京電力）

8. 見学会

9月25日（金）13:00（12:00 から受付開始）から、淡路夢舞台に整備された土取り跡の長大斜面緑化現場である灘山緑地と兵庫県立淡路景観園芸学校／兵庫県立大学淡路キャンパス（兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科）の見学会を開催します（申込み〆切ました）。

9. 大会運営委員会

第40回日本緑化工学会大会運営委員会

委員長：山本聡 幹事：大藪崇司、澤田佳宏、岡田準人

〒656-1726 兵庫県淡路市野島常盤 954-2 兵庫県立淡路景観園芸学校内

TEL&FAX：0799-82-3178 E-mail：ryokuka40@awaji.ac.jp